

JICA 国別研修南アフリカ「開発のための公共財政管理」研修への講義を行いました。



平成28年6月1日に JICA 国別研修南アフリカ「開発のための公共財政管理」研修に参加している南アフリカ共和国の行政官が北海道開発局を訪れました。

南アフリカ共和国の地方政府の開発は、大都市圏では増加する流入人口の把握や対応、都市の課題に対応するインフラ整備、農村部では高い貧困率やマーケットへのアクセス不足、都市部よりも劣るインフラなど、それぞれ異なる課題を抱えており、本研修は、日本の経済成長・社会開発を支えた中央政府、地方政府の財政の役割への理解促進を目指し、様々な講義、視察を織り交ぜて開催されたものです。

北海道開発局では「社会資本整備総合交付金」についての講義を行い、開発調整課、都市住宅課、地方整備課から、制度概要及び社会資本総合整備計画の具体例について説明しました。

研修員たちからは、個別補助金と比較した社会資本整備総合交付金の特長や、事業実施に際しての自治体の負担率など、多岐にわたる内容で積極的に質問をいただきました。予定されていた時間では聞き足りない、というほどの熱心な姿勢で参加していただき、当局といたしましても大変有意義な時間となりました。

